

春暖の候、皆様益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。  
日吉屋通信をお送りいたします。

・和傘屋の繁忙期・

春の茶会に向けて、野点傘のオーダーが入り始める二月から徐々に忙しくなる弊社工房。

四月からは、初夏から秋に向けての各地の祭事用和傘の修理・新調のご依頼も入り、一年で最も忙しい時期を迎えます。

特に修理や復元のご依頼は年々増えております。よく聞くのは「今までお願いしていたところが辞めてしまわれた」といったお話。

和傘業界も非常に高齢化しており、後継者問題を解決できずに廃業されるところが多いでしょう。また、分業化が進んでいるために、例えば部材制作専門の職人が辞められるとその地域の和傘製作に大きく支障が出る等、構造的な問題もあります。和傘業界の維持や、製作技術の継承の意味からも、和傘の持つポテンシャルを生かせる市場の開拓・発展は必要だと痛感しています。

・見直される和の意匠・

年々増えているのが、商業施設や宿泊施設の御引き合い。古都里シリーズも受注が急激に伸びており、生産が追いついておりません。その他にも提灯や、ポリエステル生地を用いた装飾用野点傘の注文が増えています。伝統技術とデザイン・新素材を柔軟に掛けあわせながら、ご要望に合わせたものづくりを進めております。

← 古都里の発展形。より傘に近いシルエットの特注照明。



→ 工房はしばらく傘一杯になります。



← 大型の提灯は、海外の店舗様のご注文。

